

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター 令和3年度（2021年度）第6号

教職員の勤務実態アンケートへのご回答ありがとうございました！

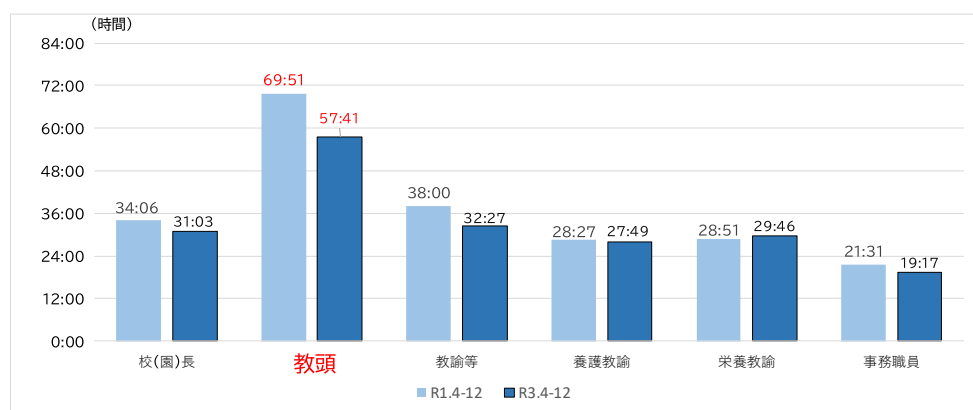
令和4年2月15日（火）～令和4年3月7日（月）に実施した「教職員の勤務実態アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。3078人の教職員の皆様にご回答いただきました。

「自分で取り組んで効果のあった取組」や「働き方改革に対するご意見」といった自由記述の設問にも、多くの方にご記載いただきました。一つ一つ大切に読ませていただいています。

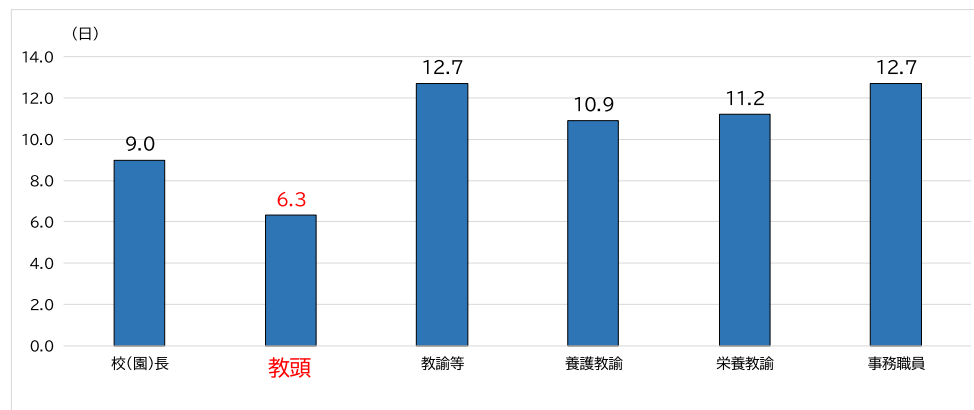
結果の概要につきましては、令和4年度のニュースレターやプロジェクト会議等でご紹介できるよう準備を進めています。

左のグラフは、コロナの影響を受ける前の令和元年4月から12月までと、令和3年4月から12月までの熊本市立学校教職員一人一月あたりの在校等時間を職種別に示したもので、右のグラフは、令和3年1月から12月までの熊本市立学校教職員の年休取得状況を示したものです。

熊本市立学校教職員一人一月あたりの在校等時間（職種別）※1



令和3年熊本市立学校教職員の年休取得状況（職種別）※2



※1の対象は、教職員システムに登録されている教職員

※2の対象は、教職員システムに登録されている教職員のうち、年次有給休暇の付与日数が20日であるもの



コロナ禍で、消毒作業や学年・学級閉鎖への対応等新たな業務が加わり、先生方はこれまで以上に忙しい毎日だったと思います。



職種の中で、最も在校等時間が長いのは、教頭先生です。令和元年と比べると在校等時間が減ってきているとはいえ、他の職種と比べても突出して多いです。コロナに関する業務も増えて、対応が大変だったことでしょう。

年休の取得も、他の職種に比べてかなり少ないです。なかなか休みも取れない状況なのですね。



そんな中、戸締りを学年で輪番制にしたことでずいぶん負担が減ったと言う教頭先生もいらっしゃいました。忙しさを、みんなの助け合いでカバーするところが先生方の良さですね。

学校改革！教職員の時間創造プログラムでも、部活動、ICT の活用と並んで教頭業務を大きな課題の一つと捉えています。第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラムでは、「**教頭業務の整理と改善の工夫**」として取組項目の一つに挙げています。取組内容としては、教職員全体の業務の明確化と整理を行いながら、特に教頭業務については、他の職員とどのような分担ができるか、他の自治体や既に取り組んでいる学校の好事例を紹介する中で可能性を探りながら、負担軽減を図っていきます。

第3回 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト会議について

延期となっておりましたが、第3回 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト会議は、「熊本市立学校教職員の時間外勤務及び年休取得の実績」「部活動改革」などについてご意見を頂く書面会議という形で実施いたしました。

学校メンバーから頂いた主な意見

- ・教職員の時間外勤務については、年度初め等の事務処理の負担軽減や、教頭業務の負担軽減などが課題と思われる。
- ・他都市と比較して、本市の部活動指導員の配置は少なすぎると思う。
- ・長期休業中の研修見直しも含め、閉庁期間の設定や休暇取得がしやすい状況を作してほしい。
- ・他校の取組を参考に実践していくことが、改革の第一歩につながることを、全職員で共通理解して、働き方改革の推進に努めていきたい。

来年度も引き続き、教育委員会事務局と学校代表のメンバーが共に、園・学校現場の状況を情報共有しながら、働き方改革を進める取組について協議を行っていきます。

全国で行われている働き方改革を紹介します

教室・校内掲示

- ・掲示物の一部廃止や張り替えるタイミングを見直した。(月ごとや行事ごとの張り替えの廃止)。
- ・児童生徒自身が作品の掲示を行うようにした。
- ・常に完成した掲示板ではなく、1年をかけて完成させていく「足し算方式」の掲示板に転換した。

委員会活動・クラブ

- ・活動頻度の低い委員会は廃止とし、活動内容が近い委員会は統合することで全体の委員会数を減らした。
- ・クラブの決定方法について、紙面で希望を取るのではなく、全員を体育館など一か所に集め、希望するクラブごとに分かれさせ、その場で調整を終わらせた。

校内の会議

- ・職員会議や生徒指導関係の会議など、定例実施にしているものを必要に応じて開催へ変更した。
- ・部会会議の構成人数を半分にして協議内容を分担する、主任会を職員会議の代わりにするなど、少人数で効率的な会議を行えるように会議体を見直した。



※紹介した取組は、「改訂版 全国の学校における働き方改革事例集」(令和4年2月 文部科学省)から年度初めの職員会議等で話題ご活用頂けそうなものを抜粋しています。その他の事例については、下のリンクから見るができます。

Part1 ⇒ https://www.mext.go.jp/content/20220221-mxt_kouhou01-000020595_2.pdf

Part2 ⇒ https://www.mext.go.jp/content/20220221-mxt_kouhou01-000020595_3.pdf

Part3 ⇒ https://www.mext.go.jp/content/20220221-mxt_kouhou01-000020595_4.pdf

また、グループウェアのキャビネットにも保存しておりますので、ご活用ください。

グループウェア > キャビネット > 01教育委員会事務局 > 02学校改革推進課 > 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト > 03学校における働き方改革事例集



先日実施しました、教職員の勤務実態アンケートの「ご自身が行い、効果のあった取組」でも、709件もの回答が寄せられました。熊本市の先生方が教えてくださった「これ、いいよ!」も、来年度のニュースレターやプロジェクト会議等でも紹介させていただく予定です。

学校の好事例だけでなく、先生方お一人お一人の豊富な経験や知恵を共有しあう場としても、このニュースレターを活用していきます。

年度末、年度初めは慌ただしい時期ではありますが、1年間頑張った先生方ご自身の心と体を労って、少しほっとする時間もとっていただけたらいいなと思っています。

来年度は、先生方の在校等時間を減らすことと同時に、やりがいを増やすこと、教職員の魅力を発信することにも力を入れて働き方改革を進めていきます。本年度も読んでくださってありがとうございました。



発行:熊本市教育委員会事務局
教育総務部 学校改革推進課
TEL:(096)328-2708